

## 惜しまれながら解散 18年の歴史に幕をおろす

2020/12 里美岳苑岳務

山岳同好会里美岳苑「記念碑建立式典」「卒苑記念式典」

この同好会は2002年、日立製作所多賀工場の山岳部OBが立ち上げました。山を自然を定年後も楽しもうと立ち上げ、今年18年で解散することになりました。理由は高齢化です。平均年齢が76才となり健康な方も多いのですが健康を崩す方も増えバランスが取れなくなってきました。

会の年間行事は当初、メインの「登山」などハードな山など楽しみましたが、年々峰歩きの「トレッキング」から里山、温泉などを主とした「ハイキング」など名称も変化してきました。それでも元気な方で力量に応じた行事を主体にグルメなども楽しんできましたが、それもだんだんと縮小を余儀なくされ、解散の道を選びました。

ただし、解散はしても仲間の「絆」は深く里美岳苑を卒業してOBとしてかかわりを持ち続けようと「卒苑」としました。「絆」「つながり」を大切にし、都合のつく人だけで、何の縛りもなく集まれるようにしました。幸いに私たちの里美岳苑には「里美山荘」と「天下野山荘」がありそこを拠点にして楽しむことが出来ます。両山荘ともどちらも街から少し離れていますが、近くには自然がいっぱいの里山があり春夏秋冬楽しめます。

解散を機に記念碑を立てようとの機運も高まり、「記念碑建立式典」とこの日に合わせ解散会の「卒苑記念式典」も同日場所を代え行うことになりました。この記念碑は会員のY氏が材料も製作も手掛け、全部が手づくりの立派な「記念碑」が完成しました。

里美岳苑「記念碑建立式典」 里美美岳苑ここにありき

令和2年11月4日 場所は天下野山荘※ブナ公園 参加者32名。快晴。



穏やかな天気恵まれ、あたりは紅葉に染められた山に囲まれたブナ公園で行われました。公園に建てられた記念碑は、高さ1.5m程度の「里美岳苑ここにありき」に守られるように「記念碑」を鎮座させ、そのまわりに会員の思い出や名前も書いた各々の石も奉納し、いつまでも山男の願いが残るようにしました。

式典は東金砂神社の神事にのっとり厳かに祝詞を受け、玉ぐしを全員で奉納したあと会員には紅白の餅とお守りが配られ会員の安全を願い無事終了しました。

※ブナ公園は天下野山荘の近くにあり、10周年を記念した記念樹のブナも植えられています。この公園も会員のY氏の所有地をご厚意でお借りしている。その一角に建てられた記念碑は東金砂神社の参道脇にあり神社へお参りに訪れた参拝者がときおり訪れてお参りしているという。

「記念碑」  
「里美岳苑ここにありき」



山岳同好会里美岳苑「卒苑会記念式典」

令和2年11月4日 午後3時から国民宿舎「鶴の岬」 参加者35名。



式典では冒頭、18年の中で亡くなられた14名の会員に全員で黙とうを捧げ、哀悼の意を表した。最初に代表の岳頭から「18年一つの怪我もなく、安全にやれたのは誇りだ」「これからは残りの人生を楽しもう」。

I顧問からは創設当時の思い出や病気を克服しこれからは、授かった命を「人のため」に使いたい、また、「写真展」を開く夢を大切にしていきたいと挨拶されました。初代岳頭のH相談役は自ら作った※「里美岳苑約束」「この18年はこの精神をみんなが一つになってできたことは素晴らしい」「ありがとう」感謝の言葉が述べられた。

そのあと、18年の活動をプロジェクターで写し、年度ごとの活動に会員それぞれ思い出が語られ懐かしく振り返ることが出来ました。

無事、大きな行事を行い「卒苑」とすることが出来ました。

※「里美岳苑約束」 里美岳苑はこの約束を精神的支柱として活動してきた

里美岳苑約束

健全にして周到

奉仕の心忘れず

岳友 力を合わせ

自ら行う

愛しき自然人たれ

平成十四年十一月

初代岳頭